



# 平成25年3月期 決算説明会

## 説明者

代表取締役社長	種村	均
取締役執行役員 財務部長	加藤	博



# 本日の内容

1. 平成25年3月期  
連結決算の概要
2. 平成26年3月期業績予想  
及び第9次中期経営計画の概要

# 連結子会社

連結 19社 増加1社 減少2社

増加：則武(上海)貿易有限公司

(重要性が増したことによるもの)

減少：**Noritake Porcelana Mfg., Inc.**

(清算終了によるもの)

東濃研磨株式会社 (株式一部売却によるもの)

持分法 5社 増加1社

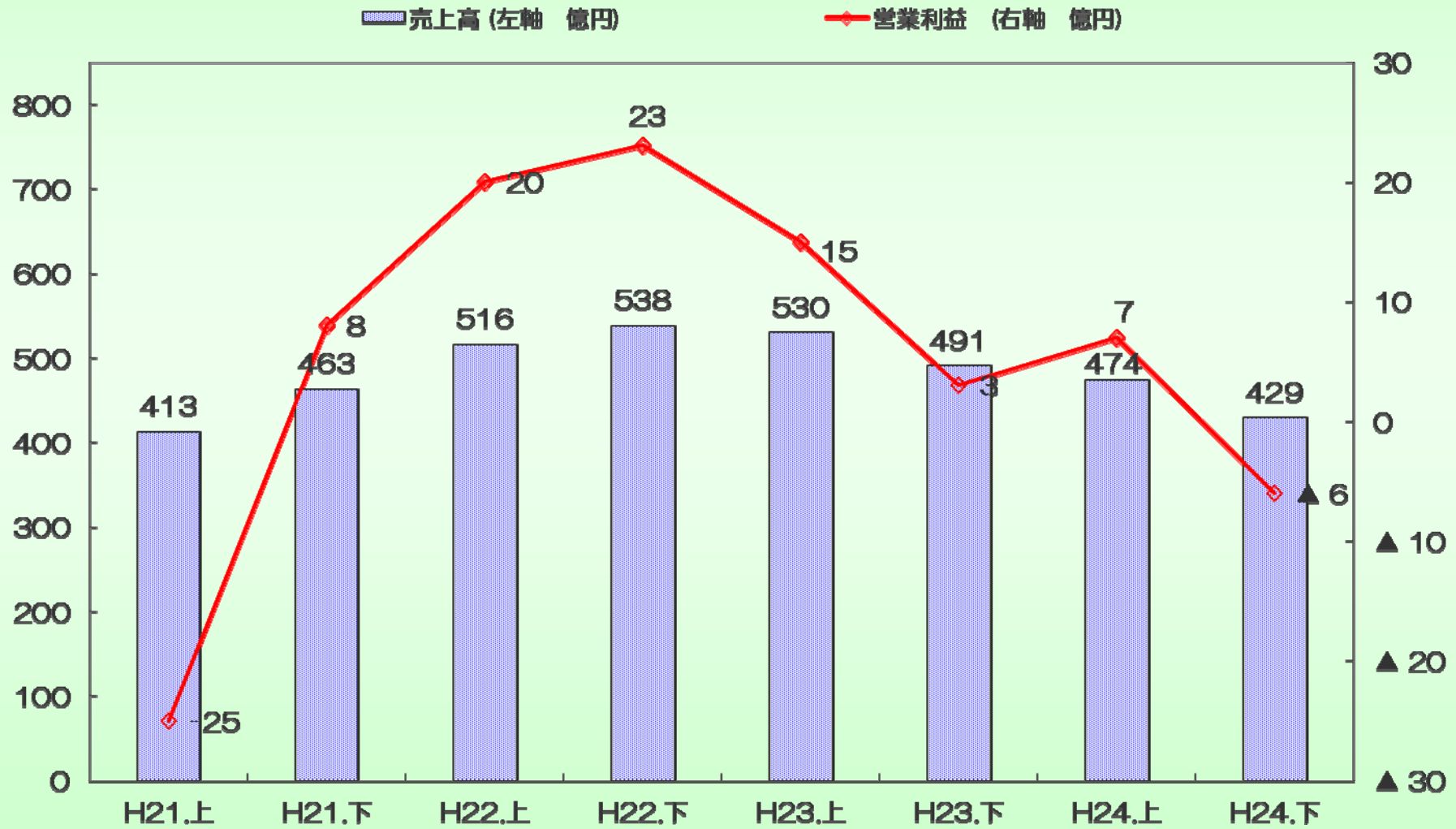
東濃研磨株式会社 (株式一部売却によるもの)

# 連結決算の概要

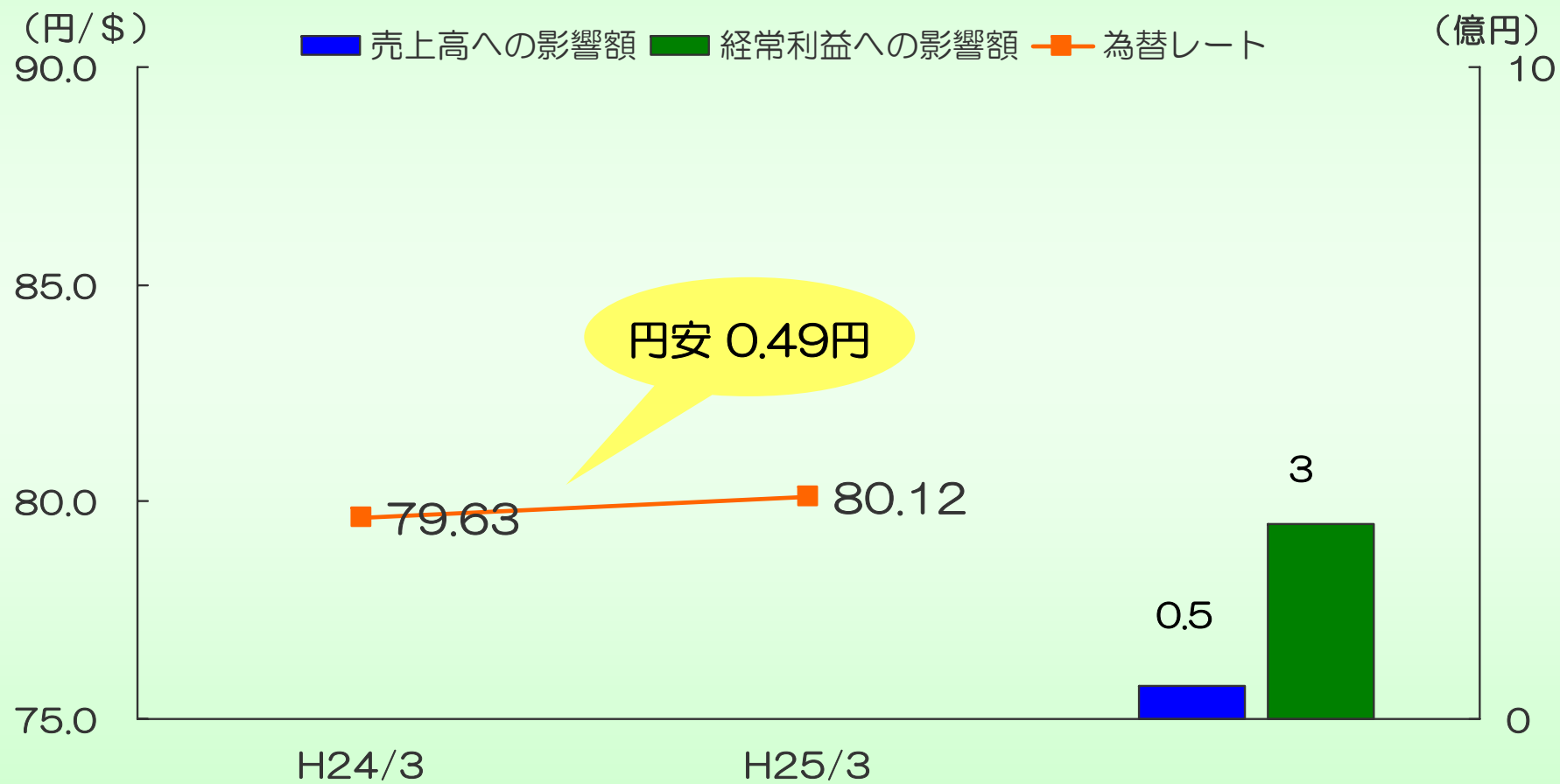
(単位：億円 未満切捨)

	H24/3	H25/3	前年同期比
売上高	1,022	902	△11.7%
営業利益	19	1	△96.6%
経常利益	27	11	△57.5%
当期利益	45	16	△63.2%
1株利益	31.99円	11.02円	
配当	8円	8円	

# 連結損益の推移



# 為替の影響



# 連結経常利益の変動要因

H24年3月期 経常利益 27億円

増加要因 15億円

合理化・改善の効果 2億円

一般管理費・販売費の減少 10億円

為替の影響 3億円

減少要因 31億円

売上高の減少 25億円

原材料価格の上昇 3億円

工場移転費用 3億円



H25年3月期 経常利益 11億円

# 特別損益

<b>(特別利益)</b>		<u>40.5億円</u>
内訳	負ののれん発生益	40.5億円
<b>(特別損失)</b>		<u>△ 25.1億円</u>
内訳	固定資産処分損	△9.1億円
	固定資産減損損失	△13.7億円
	その他	△ 2.3億円

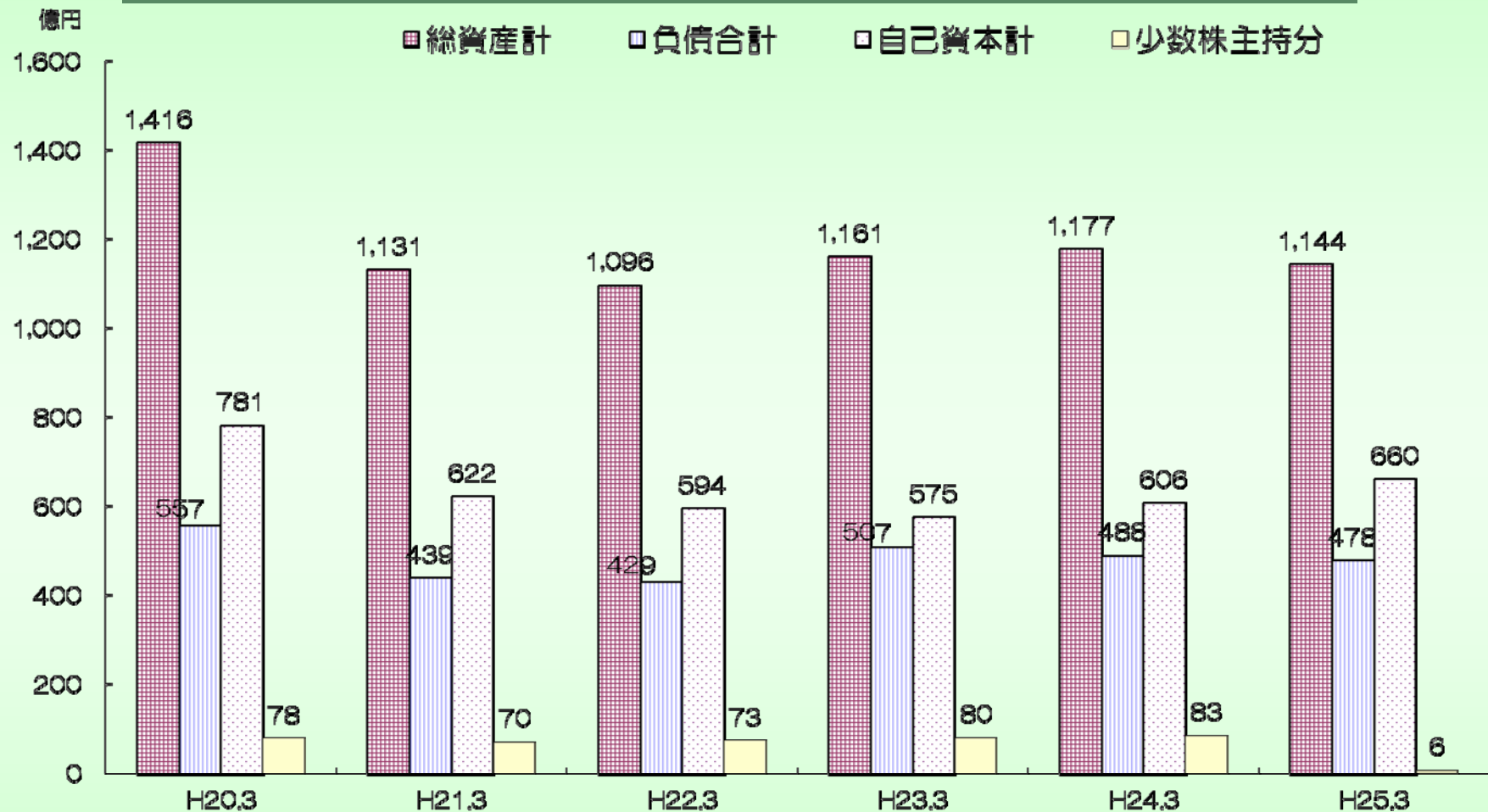


# 比較貸借対照表

(単位：億円)

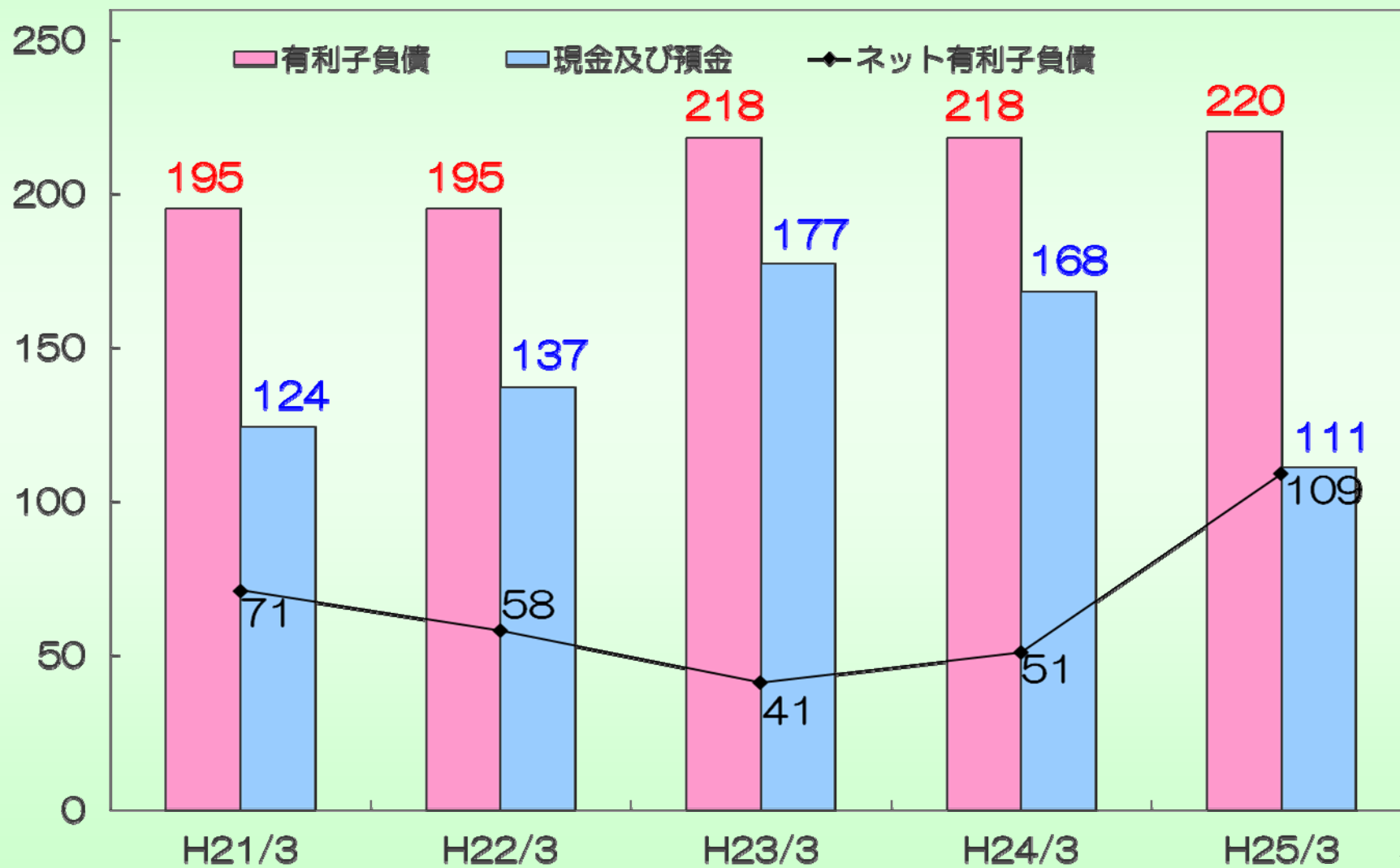
	H24/3	H25/3	増 減
総 資 産	1,177	1,144	△33
流動資産	638	531	△107
固定資産	539	613	74
負 債	488	478	△10
純 資 産	689	666	△23
(内、少数株主持分)	(83)	(6)	(△77)
一株当り純資産	434 円	441 円	7 円

# 貸借対照表残高の推移



	H20.3	H21.3	H22.3	H23.3	H24.3	H25.3
株主資本比率	55.1%	55.0%	54.2%	49.5%	51.5%	57.7%

# 有利子負債残高



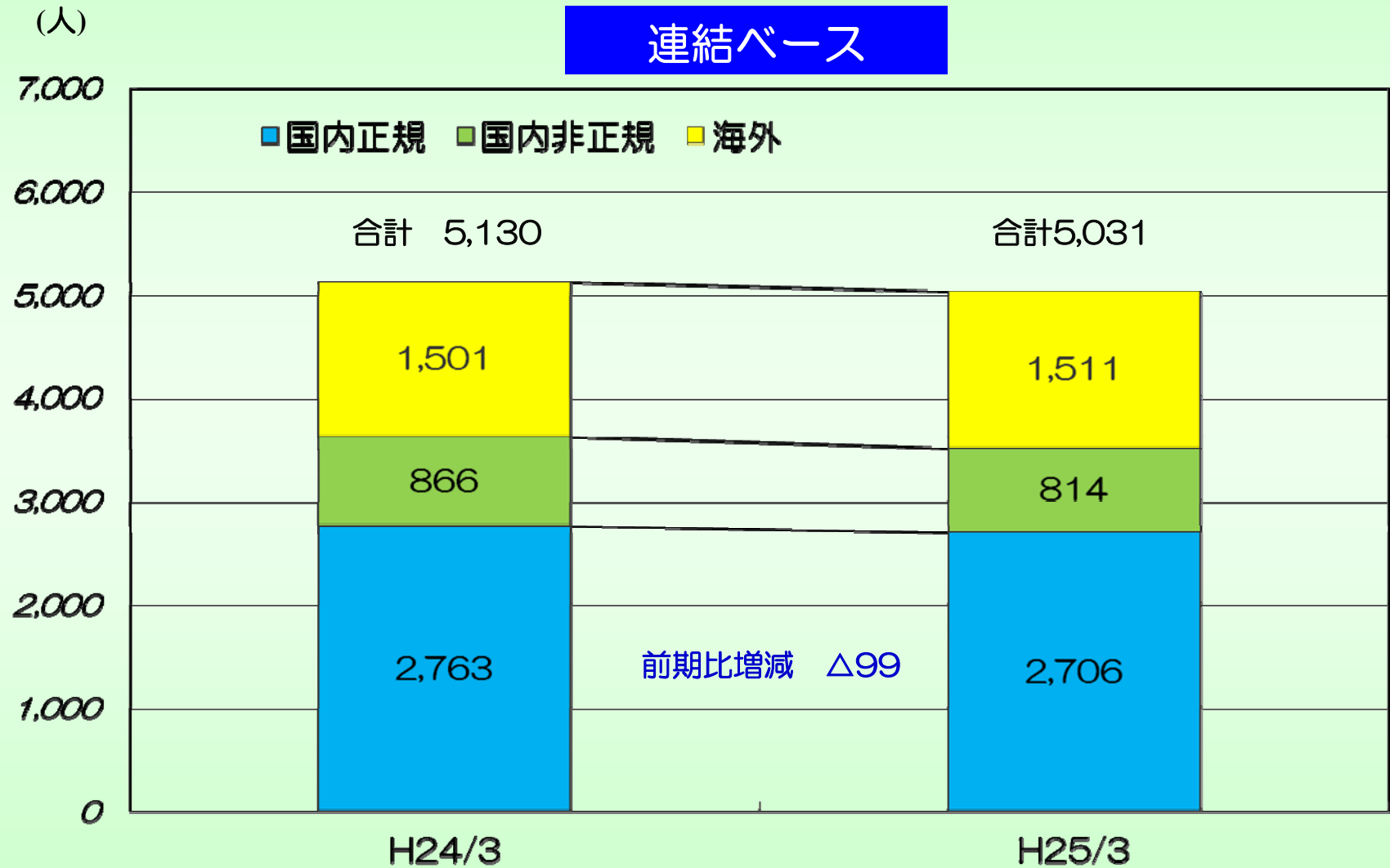
# キャッシュフロー

(単位：億円)

	H24/3	H25/3	増 減
営業活動によるCF	33	42	9
(内、法人税等)	( $\Delta$ 11)	( $\Delta$ 9)	( $\Delta$ 3)
投資活動によるCF	$\Delta$ 41	$\Delta$ 73	31
フリーキャッシュフロー	$\Delta$ 8	$\Delta$ 30	$\Delta$ 22
財務活動によるCF	$\Delta$ 10	$\Delta$ 24	$\Delta$ 13
(内、長短借入金純増減)	( $\Delta$ 0)	( $\Delta$ 1)	( $\Delta$ 1)
現金及び同等物残高	138	88	$\Delta$ 50

# 期末人員数

連結ベース



# セグメント別動向

## — 事業概況 —

工業機材

研削砥石 ダイヤ・CBN 工具 研磨布紙

セラミック・マテリアル

電子パースト 厚膜回路基板 石膏  
コア・担体 蛍光表示管 共立マテリアル

エンジニアリング

乾燥・焼成炉 濾過装置 研削機械等

食器

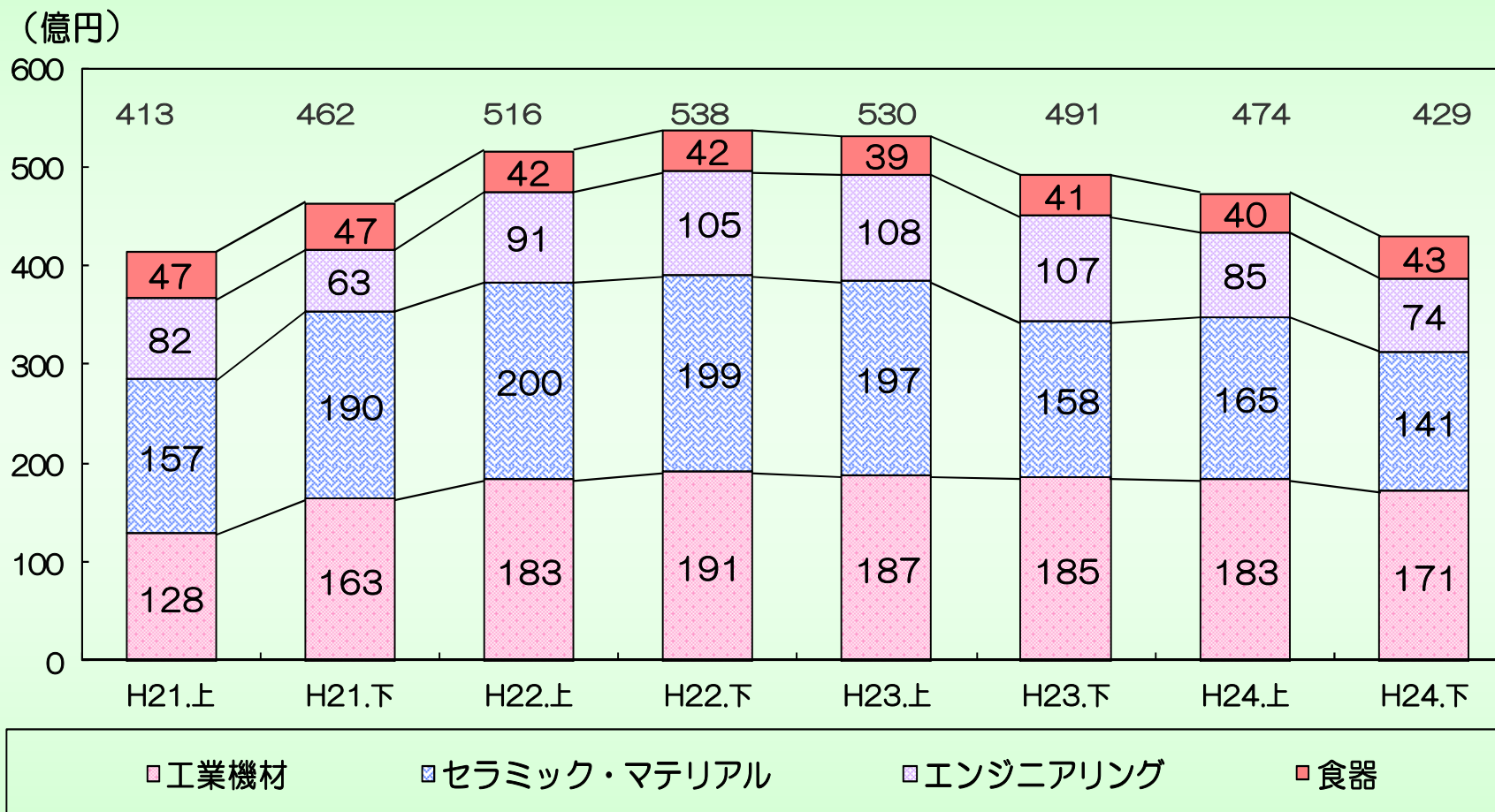
米州 欧亜 国内

# セグメント別売上高（前年度比較）

（単位：億円）

	H24/3	H25/3	前期比
工業機材	372	354	△4.7%
セラミック・マテリアル	355	306	△13.8%
インジニアリング	215	159	△25.8%
食器	80	83	+3.4%
合計	1,022	902	△11.7%

# セグメント別売上高推移





# セグメント別営業利益

(単位：億円)

	営業利益		営業利益率	
	H24/3	H25/3	H24/3	H25/3
工業機材	9.0	△0.9	2.4%	△0.2%
セラミック・マテリアル	19.1	6.4	5.4%	2.1%
インフラ	△2.7	△0.4	△1.2%	△0.3%
食器	△6.7	△4.5	△8.3%	△5.4%
計	18.8	0.6	1.8%	0.1%

# 工業機材事業

(単位：億円)

売上高	H24/3	H25/3	前期比
研削砥石	146	136	△9
ダイヤ・CBN 工具	121	118	△4
研磨布紙	66	65	△2
関連商品	39	36	△3
合計	372	354	△18

18

# セラミック・マテリアル事業

(単位：億円)

売上高	H24/3	H25/3	前年同期比
電子ペースト	114	93	△20
コア・担体	24	19	△5
石膏	19	19	△0
厚膜回路基板	27	32	5
蛍光表示管	49	40	△9
共立セラミック原料	77	64	△13
共立電子部材	45	39	△6
合計	355	306	△49

# エンジニアリング事業

(単位：億円)

売上高	H24/3	H25/3	前期比
乾燥・焼成炉	164	114	△50
濾過装置	22	23	1
研削機械	17	13	△4
スタティックミキサー等	12	10	△2
合計	215	159	△55

# 食器事業

(単位：億円)

売上高	H24/3	H25/3	前期比
米州	18	21	3
欧亜	19	19	△1
国内	43	43	1
合計	80	83	3

# 本日の内容

平成26年3月期の連結業績予想

# 平成26年3月期 連結業績予想

(単位：億円)

	H25/3			H26/3				
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	通期増減	増減率
売上高	474	429	902	450	470	920	18	+2.0%
営業利益	7	△6	1	0	6	6	5	+831.4%
経常利益	12	△1	11	4	11	15	4	+31.1%
特別損益	17	△2	15	3	1	4	△11	-
税前利益	29	△2	27	7	12	19	△8	△29.5%
当期利益	23	△7	16	2	8	10	△6	△39.2%
US\$為替	80.1 円			90.0 円				

# 連結経常利益（予想）の変動要因

H25年3月期 経常利益 11億円



増加要因	8億円
売上高の増加	5億円
合理化・改善効果	3億円

減少要因	4億円
原材料価格の上昇	3億円
工場移転費用	1億円

H26年3月期 経常利益 15億円



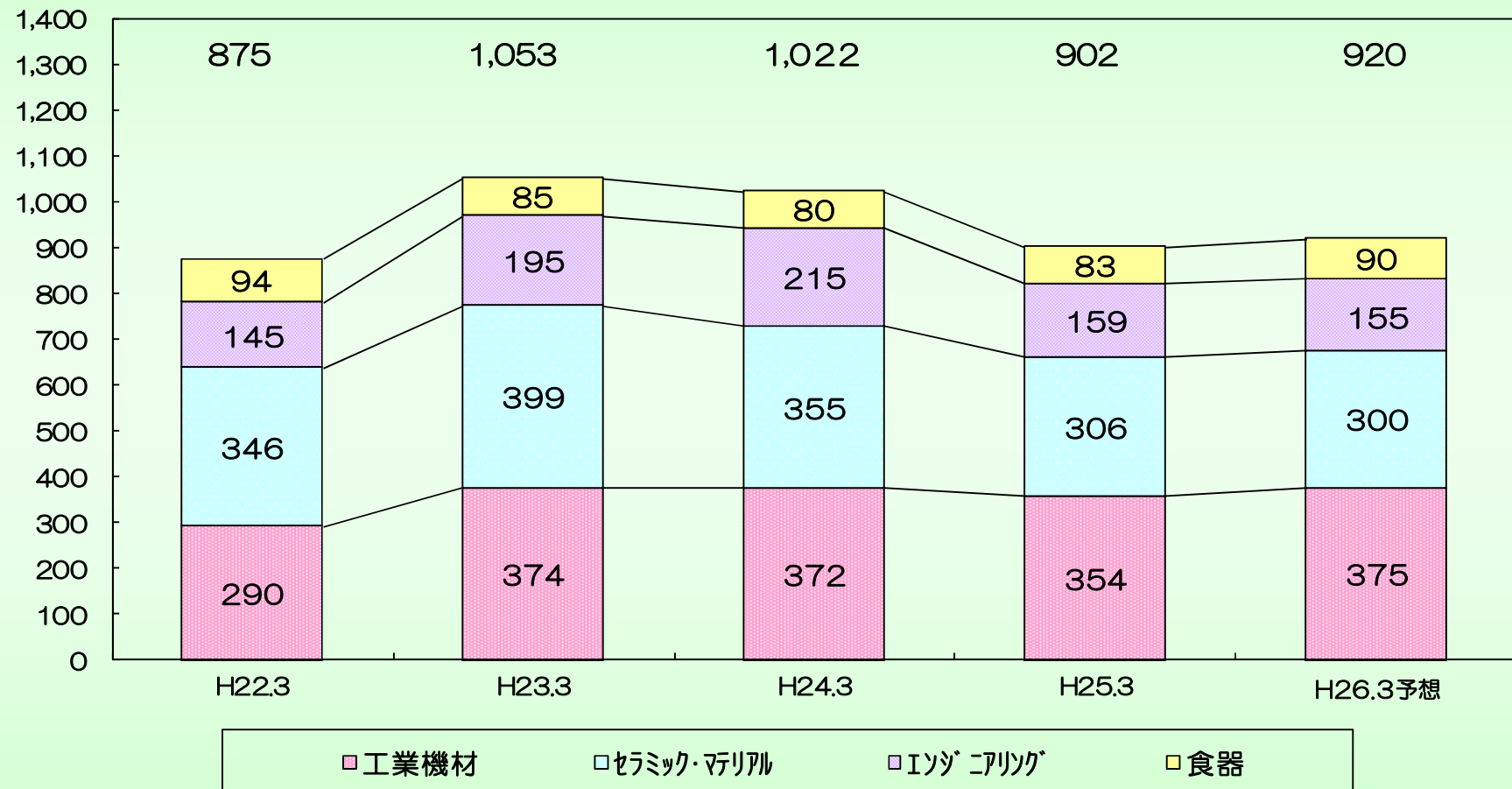
# セグメント別業績予想 (前年度比較)

(単位：億円)

	H25/3		H26/3		増 減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
工業機材	354	△0.9	375	3.0	21	3.9
セラミック・マテリアル	306	6.4	300	9.0	△6	2.6
インダストリアル	159	△0.4	155	△3.0	△4	△2.6
食 器	83	△4.5	90	△3.0	7	1.5
合 計	902	0.6	920	6.0	18	5.4

# セグメント別売上高推移

(億円)



# 戦略商品の売上計画

戦略商品の売上状況

(億円)

	H24.3期 実績	H25.3期 実績	H26.3期 計画
太陽電池ペースト	63	47	38
ダイヤモンドワイヤー	3	3	5
リチウム電池焼成炉等	66	35	21
合計	132	85	64

- ・ 欧州経済の悪化で、中国太陽電池業界に大打撃  
新商品を上市したが、中国向け出荷大幅減少
- ・ ダイヤモンドワイヤーは、改良と拡販に努める
- ・ リチウム電池焼成炉は、国内一服で新分野向けに注力

# 本日の内容

## 第9次中期経営計画の概要

## 第9次計画の位置付け

第8次計画において基本戦略（事業の選択と集中、新技術・新商品開発強化、海外市場開拓、海外生産による原価低減、経営インフラ整備）の実現に一定の進捗はあったものの、所期の目標には程遠い結果となった。

第9次計画においては、第8次計画の成果が極めて不十分であったことを反省し、第8次計画で掲げた基本戦略をより迅速に、より効果的に実現することを基本テーマとし、その実現に全力で取り組む。

## 第9次中期経営計画の基本課題

経営課題	変化する市場に迅速に対応すると共に、激しさを増すグローバル競争下において安定的に成長できる事業体制、経営体制を構築する。
経営目標	長期目標として、年間売上伸張率5%、売上高経常利益率7%、自己資本比率50%以上維持、海外事業比率50%を目指す。第9次中期経営計画期間は、長期目標実現の助走期間として位置付ける。
基本戦略	<ul style="list-style-type: none"><li>①価格競争力のある新技術、新商品を開発し、市場競争力を高めて売上拡大を図る。</li><li>②海外生産拠点の整備を進め、海外市場の開拓と採算性の向上を図る。</li><li>③効果的で効率的な経営体制及びインフラの整備を推進する。</li></ul>

## 第9次計画の事業戦略

### 工業機材事業

- ・ 海外生産拠点を活用して価格競争力を高め、日系顧客のほか、現地顧客への販売を強化し、売上の拡大を図る。
- ・ ダイヤモンドワイヤーの商品化を急ぐほか、各種用途向けの新商品開発に注力する。
- ・ 三好工場に移転した新砥石工場のメリットを生かした高効率生産を実現する。

## 第9次計画の事業戦略

### セラミック・マテリアル事業

- ・電子ペースト事業においては、太陽電池市場の安定顧客向けの販売を強化する。
- ・厚膜基板、石膏の海外工場を活用し、アジア市場の開拓を図る。
- ・超微粒子原材料、透光性ジルコニアなど新製品の開発投入により、国内・海外市場の販路開拓を進める。



## 第9次計画の事業戦略

### エンジニアリング事業

- ・ 海外生産・調達拠点を一層強化し、品質・価格両面での競争力を高めてアジア市場を中心に開拓を進める。

### 食器事業

- ・ 新興国向けの販路・販売体制を強化するとともに、高額商品、上質日常食器シェールブランドの商品拡充、販売強化を図る。

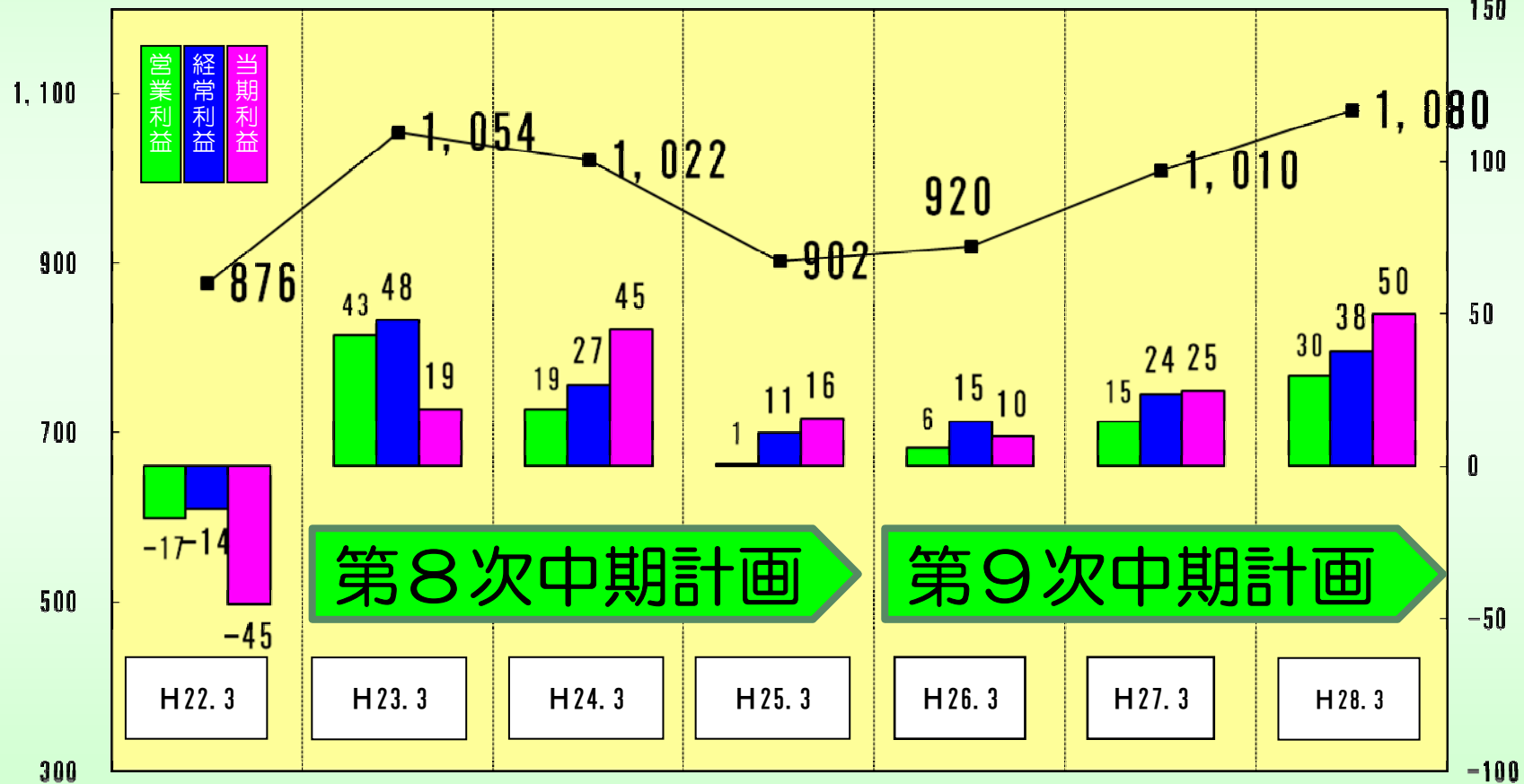
## 第9次計画の連結業績目標

(単位：億円)	25年度	26年度	27年度
売上高	920	1,010	1,080
営業利益	6	15	30
経常利益	15	24	38
特別利益	7	10	20
特別損失	△3	△2	△1
税引前利益	19	32	57
当期純利益	10	25	50

# 第9次計画の連結業績目標

売上高（億円）

利益（億円）



## 第9次計画の連結業績目標

### 売上高の事業部別内訳

(単位：億円)	25年度	26年度	27年度
工業機材	375	425	455
セラミック ・マテリアル	300	320	340
エンジニアリング	155	170	185
食器	90	95	100
合計	920	1,010	1,080

## 第9次計画の連結業績目標

### 営業利益の事業部別内訳

(単位：億円)	25年度	26年度	27年度
工業機材	3	4	8
セラミックス ・マテリアル	9	11	15
エンジニアリング	△3	2	7
食器	△3	△2	0
合計	6	15	30

# 第9次計画の連結業績目標

## 人員計画

(単位：人)	25年 3月	28年 3月	3か年 増減
本 社	2,515	2,400	△115
国内子会社	1,005	978	△27
海外子会社	1,511	1,739	228
合 計	5,031	5,117	86

\*非正規従業員を含む

## 第9次計画の連結業績目標

### 有利子負債残高及び投資計画

(単位：億円)	25年度	26年度	27年度
期末有利子負債	△220	△240	△205
期末現預金	100	100	100
実質有利子負債	△120	△140	△105

第9次計画の3か年で、設備投資約130億円を計画。

## 第9次計画のトピックス

### ①セグメント別の海外事業比率

金額ベース：%	海外販売			
	25.3	26.3	27.3	28.3
工業機材	23	23	32	35
セラミック・マテリアル	47	47	50	50
ITソリューション	30	20	25	30
食器	49	50	51	52
合計	35	33	38	40



## 第9次計画のトピックス

セグメント別の海外事業比率

金額ベース：%	海外生産			
	25.3	26.3	27.3	28.3
工業機材	3	4	13	16
セラミック・マテリアル	19	21	22	23
ITツギニプリツク	19	18	20	22
食器	43	55	56	57
合計	15	17	21	24

## 第9次計画のトピックス

### ②本社工場跡地再開発

平成25年度に移転が完了する本社工場跡地の再開発について、第9次計画期間中に具体化する。

開発事業、パートナー、開発スキームなどを平成25年度に確定し、平成28年度に事業化できるよう推進する。

なお、本社機能部分及び「ノリタケの森」は再開発対象に含めず、現行通りとする。

再開発計画の具体化の都度適宜情報開示する。

## 第9次計画のトピックス

### ③経営体制、インフラ整備

第8次計画で着手した「ものづくり強化」、「安全衛生の確保」、「品質保証体制の強化」、「コンプライアンス強化」、「環境経営の推進」の5項目の全社活動を積極的に展開し経営体制の拡充とレベルアップを図る。

ご清聴有難うございました。

*Noritake*

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。

こうした記述は将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。

将来の業績は、経営環境の変化などによって、計画と異なる可能性があることにご留意ください。